

第2回 富士見市安全安心なまちづくり防犯推進市民懇談会
会議録

日 時 平成28年8月31日(水) 19:00~21:00

場 所 富士見市役所 第2会議室

出席者 ◎市民懇談会

泰間	長坂	高野	羽石
○	○	○	○
清水	吉原	小柏	
×	○	○	

◎事務局

市川自治振興部長、【安心安全課】岡課長・舎川主事

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

・富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画骨子案について

事務局が作成した富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画骨子案について説明を行い、ご意見をいただいた。

参加者) 計画名に「安全安心なまちづくり」という文言が入っているが、計画の趣旨は防犯ということでのいいのか。はっきりとさせた方がよいと思う。

事務局) 計画名については、富士見市安全安心なまちづくり防犯条例を受けて、決めさせていただいた。防犯という趣旨をはっきりさせるため、計画内の「趣旨」でしっかりと明確化していく。

参加者) 計画内における市内の犯罪情勢については、数字だけではわからない部分が多くあることに注意したい。たとえば、ある特定の個人による犯罪等で

数字が高くなってしまいうということもあるようだ。グラフや表の見方等、誤解を招かないような工夫があるとよいのではないか。

事務局) できるだけ分かりやすいグラフや表を用いるよう努める。

参加者) 振り込め詐欺など近年は犯罪の手口が非常に巧妙である。計画は難しい文章だけでなく、手口の実例など、どういった犯罪が多いのか、市民に認知させることができればよいと思う。一方で、あまり細かすぎるのもよくないため、バランスが難しい。

事務局) あまりボリュームが多く、細かくなりすぎないものとなるよう工夫をしたい。

参加者) 目標の設定ということだが、犯罪の件数などをそのまま目標とすべきではないように思う。指標を定め、目標値を設定する方向で考えた方がよいと考える。

事務局) 指標を定め、目標を設定していきたい。

参加者) 現在、防犯活動や子どもの見守り活動などは、多くの団体が行っている。町会や学校応援団、PTA、子ども育成会、青少年育成市民会議など多くの方々が行っている。

参加者) 警察署主導で強化月間と称して銀行と連携した取り組みを行っているとのことである。民間事業者と連携した取り組みも重要である。

参加者) 現在、商店会連合会では清掃事業を行っている。防犯活動なども取り組むことは可能ではないかと思う。

事務局) 計画を策定する中で、そうした多くの団体を把握し、整理していきたい。

4 次回の懇談会について

事務局より懇談会の開催時期について説明を行った。

5 閉会